五月一日 1943　　一面　　第 61 號
パイオニア

洞窟崩壊事件に関する病院側の釋明(1)

先日の十一 K 付近洞窟崩壊の際警察及び消防局は急報に接し直に現場に馳せ附け應急の處置に援助したにも拘らず病院よりは何等の應答なく人事不正の三人の子供等は警察のピキアップを以て病院に運ばれた事に対し 11K 住民は勿論の事、事情を知る人々は病院の怠慢的行動に少なからず憤慨しているようである。

最初の通報に当った釜范次郎氏の談では、第一に消防局に電話し、續いて病院に通報したとの事で消防局長に電話が掛ったのは二時四十五分と記録されてゐる。

引續いて病院に電話は掛けられてゐる爲より見て病院が電話に接したのは二時四十五分から二時五十分の間の様に思はれる。

病院長カースタフエン医師の引見談に依れば事件並にアンビランス必要の報に接したのは午后三時頃と述べ其の時一台のアンビランスは外出中で他の一台は病院の前にあったので早速運轉手に出張用意を命じたが故障のため運轉不可能である通知して来た。先日修繕部より帰ってきたばかりのものが動かない筈はないと病院長は信用せず自身運轉すべく試したがクラッチが破損してゐる事を始めて発見した。其間外部患者部受付では警察に電話を以て車の借用を申込みキャプテン高田は直に應答、病院に馳せ付け、其処で擔架、酸素タンクを警察の車に積んで居る最中、人事不正の三少年は警察のピキアップに乗せられ病院に到着したのである。「時は午后三時十分。」さらに病院に於ては右故障アンビランスに対し左の如き事を追加してゐる。

「是れは後程確められた事であるが病院の前にあったアンビランスは故障の爲修繕部に送られてゐたものが部分品購入困難の爲修繕不可能の理由を以て去る四月二十一日修繕部より送り返され其のまゝ病院の前に立往生してゐたものである。」と。

志願兵の家族に手當支給(2)

先日本社に達した通報に依れば当亜町より出発する軍人の妻及び子供は即時必要な生活費並に旅行費として現金手当を受け得る事となった。WRA 所定の最高手当は汽車賃（コーチ）家長に対し五十弗、二人若しくは二人以上の家族に対し最高五十弗迄となってゐる。

斯の手当を受け得る者としては居住者が目的地に到着する上に於て又直に必要な生活費に当てるが爲めに財的補助を要する者と規定されてゐる。右手当金を申請する者は手持現金並に過去六カ月間の収入高を記入した記録を添へ請願書を提出しなければならぬ。

右書式は外部職業斡旋課に備へてある。尚右手当金を受領する爲めに全家族が同時に出所する必要はないのであって、家族中只一人のみが五十弗の手当金を受け得るのである。

及右家族中の他の者は二人迄各二十五弗迄の手当を受け得る規定となってゐる。

7G 賭博場検挙（3）
今回亦々署長トムリンソンに依り七 G 賭博場が検挙され、去る四月二十九日ラマー裁判所に於て公判に附されたが七十一才の老婦人は服罪し、九十日の体刑及び二百弗の罰金を併課された。他の五名も同時に服罪しそれぞれ（原文では踊り字）罰金五十弗又は三十日間の体刑を申渡された。

ランキン下院議員の獨自見解（4）
ミシゝッピー出身ランキン下院議員は「布哇出身二世を軍務に服せしむるは米国の爲に恐るべく且つ重大な過失」であると独自の見解を開陳した。更に真珠湾攻撃前第五部隊に属して暗躍した是等の日系人に軍事訓練を施す代りに彼等をして労働戦線に就かしめるを至當と考へる。と

社説　（英文訳載）（7）
曩にデウイット中將は現下の情勢に於ては日本人を西部沿岸に帰還せしむる事罷成らぬと強固なる声明を公表したが其の一節に！！ジャップは市民たると否とを問はず畢意ジャップである！！と極論してゐる。
斯の極論に関する反應の第一は、三軍を指揮する要職に在る將軍にして斯る言明を爲すが如きは甚だ不穏当也とする憤激であった。然しながら次に来る觀念は！！寔に憐むべき人！！としての同情觀である。
過般二世徴兵に関して陸軍省が誤謬を訂正して服役の機会を開放するや、開口一番、直接反対の聲を放った將軍は其後一週日以内に陸軍省の訓令に基き二世軍人をして休暇に際し西部軍事地帯に出入の自由を許可したるが如きは、一見愚鈍の感あらしめるものである。將軍の言動は今や国内を通じて總体轉住は過誤であったと認識を新たにしつゝある其の誤謬を是正すべく汲々として寧日なきを窺知し得るのである。
曽て奥地轉住問題が提議されるゝや、利己的立場に在る経済壓迫派をして將軍の裁決を急がしめたものであった。今や將軍は自己の過誤を容認する代りに寧ち之を隠蔽せんとするが如き言動は將軍をして世の嘲笑の裸的たらしめるのみであらふ。吾人は茲に苦境に立てる將軍に同情の念禁じ得ざるものである。

各轉住所より出所者数二千五百七十一名を超過（8）
聯合通信記者ジョンワード氏は最近各轉住所を通じて東部、中西部方面の都市に就職の爲め無期限出所許可を得て出所した日本人は二千五百七十一名を超過し更に二千九百四十二名は出所許可済みで近々出所する事になってゐると発表した。尚曽て当所より轉住し目下在傳馬戦時労働局行政課に就職中の堅田ジョーヂ君の所見を発表してゐる。曰く「現在の復職方針は吾々に対し益する所深きものがある。即ち吾々は米国に於て美辞麗句よりも遥に優る平等な待遇を受けてゐるものであって、自分は最善を竭す覚悟である」

尚傳馬市で曽て養鶏用器具製造所であった工場には目下廿八名の日本人が就働し火薬梱の製造に従って居り又二吞孃（原文ではおんなへんに裏）数名はコロラドゼネラル病院で看護婦として勤務中であると付加してゐる。

デウイツト中將稱讃さる（9）
四月廿二日　華府特報
目下開会中の議会に於ては日本政府により米飛行士射殺の報一度傳へられるや憤激の坩堝の裡に興論は喧々喪々たる有様である。其の一例を列挙すればテネシー州出身ステワード上院議員の如きは！！日本人は黄色悪魔！！であると烙印し更に在米全日本人を検束し且つ日系人の市民権を剥奪すべしと極論してゐる。
又同議員はデウイツト中將の言明に信頼すると陳べ我輩は歴史は全米国市民の絶對満足に対する確證を与へるものと信ずる。
此爲に言ふ米国市民中には極めて不誠実な而も憲法不信と目される日本人を除外した市民と謂ふ意味であると結論してゐる。

布哇二世間に名前変更流行（10）
ホノルヽ特報
布哇出生日系市民中約二千四百名の二吞達は其の名前を英語風に改名すべく官廳に請願したが其の理由とするところは軍部に於て出生證に記載されてゐる姓名及び法規の手續きにより変更された姓名のみが認められる爲である。多数の二吞中公立孝校時代に自己の名前（性に非ず）を英語化した者があるが未だ合法化して居らぬものである。又苗字を変更した者は少いが大内を「チング」に又渡辺を「ミラー」に或は小田を「マクレガー」に変更した等は異例とするものである。

ウイルソン大佐病院を激賞（11）
華府ＷＲＡ本部理事官ウイルソン大佐は先般当病院、倉庫、消防部等を検閲した。後各部門共其の経営顔る宜敷きを得ていると激賞した。特に病院の如きは陸軍病院の如く清潔であり秩序整然たるものがあると激賞してゐた。

亜町スカウト夏季館府計畫（12）
當所スカウト本部では今夏館府訓練に関し目下計畫調査中である。館府は當所を去ること二百哩、ニウメキシコに在り。又宿泊費としては一日一弗位の見當であるが現下の食料問題が計畫実行の難問となってゐる由で、何れ決定の上は後報する故、父兄の一考を煩し度いと當事者は語ってゐる。

所内今後の催物（13）

警察・娯樂部・各ブラツク・マネジャー会談に於いて協議の結果、ブラツクマネージャーの要求に應じ未る五月一日より所内の各催物に対しての許可は各ブラツクマネージャーが取り扱ふ事に決議された。而して今後の催し物に対する許可申請は直接各ブラツクマネージャーになす様に要請してゐる。更に今後の会場は警察に依り厳重に取締られる事になってゐると。

病院にて入用　(14)
先般未当病院に於いては、看護婦助手の講習を開始してゐるが、未だ人員不足してをり、講習希望者は病院内看護婦長アルマ・フォールダ嬢に申込まれ度しと。
當病院の掃除人（男）も募集してをり希望者は直接病院に申込まれるやう要請してゐる。

有本克己君入社（15）
今回アマチスカウト本部月報レヴエリーの編輯部員あり第百六十二小隊の副隊長である有本克己君は本社記者として入社、敏腕を振ふ事となった。

久保・津島、両氏寄附（16）
9Ｅ区在住久保夫妻は令嬢結婚記念として又津島豊君も結婚記念として各々金一封を同区に寄附した由で区民一同非常に感謝してゐると。

ケンブリツジ美術展出品に就て（17）
既報マサチユセツト州ケンブリツジフレンドセンター主催の美術展作品は五月十五日迄にケンブリツジに届けられねばならないので來る金曜日を以て締切る事になった。美術愛好者は其の本職たると又素人たるを問はず参加し得るもので、金曜日迄に各自の作品を7Ｅ美術部迄届けられ度しと。
尚送料は娯樂部で負担する由である。

リンドレー氏比良に出張（18）
當所々長リンドレー氏は農園経営及び人力動員に関する調査の要務を帯び、先週木曜日比良センターに出張した由。

チエツキ現金換時間変更（19）
五月一日よりパイオニヤビル西側に於て取扱中のチエツキ現金換時間を左記の通変更した。
毎日午前九時より
　　十一時半まで
午後は閉鎖

戰時美談　一家兄弟四名の志願兵（20）
回顧すれば二十年の二昔に溯るが、佐倉豊藏氏は暫く病床に在ったが、病重しと感ずるや臨終の床に四人の兄弟を招き
「お前達は皆米国市民としてこの国土に生を亨けた事に感謝しなくてはならぬ。されば如何なる事があっても市民としての威嚴と名誉を保ち報国の至誠を竭すべきである。」
と遺言したのであった。
今や国家非常の砌、ミニドカ轉住所に居住中であった佐倉チエスター、ハワード、テツド、ケニーの四君は名誉ある軍人として兵役に志願し、亡父の遺言をして生あらしめたことは戰時美談として推賞に値するものがある。

要求欄（21）
*機械係見習　一時間六十五仙
*ラス気係　　〃〃〃八十五仙
*ナーセリー　独身者又は夫婦者
　　寝室付　月給＝百弗
*ガーデナー及び女中　オマハー
　　寝室付　月給＝百弗
*道具製造・修繕　経驗を要す
　　一時間　一弗三十五仙
*発動ラス機係　シカゴ
　　一時間九十五仙　経験を要す
* デナコック　ハーレ市
　　週給二十弗　食付
*経験あるドライクリーナー。
　　- スパツター五名　一時間一弗十仙
　　-ステームクリーナー五名　一時間一弗以上　-プレツサー婦人十名　一時間七十仙以上
　　- マーク付五名（女）　一時間六十仙-八十五仙
　　-ドライクリーナー五名　一時間一弗十仙　-プレツサー　二十名（男）　一時間一弗。　其の他見習　一時間五十仙。
　　以上　デトロイト市
*ツラクター使ひ　二名
　　日給＝三弗　食室付
　　収穫期　日給六弗

外出許可発給緩和さる（22）

當所副所長ハービソン氏は先日一時禁止中であった外出許可の発給を緩和する旨発表した。即ち無期限出所許可及び就働パスは從未通り発給されるが、ラマー、グラナダ及び近隣の町に出る許可は緊急の用事の外は発給しないものであると。

當所農園近況（23）

*當所農務課長ジョン・スペンサー氏先週土曜日來任前任ベニソン氏はＷＲＡ傳馬支局に就職中である。

*當所農場では既に七十七英加のポテトーを播種。尚新にプロコリ及び青葱も其他の野菜類と共に播付けの準備中である。

*牧畜方面では最近五十頭の牛を購入した。

*麥畑も目下鋤返し中であり、ヌアルファルファには灌漑が施され、周囲の棚も立てられてゐる。

運動具購入に便宜を計る（24）

當所娯樂課では各團体で運動具を購入する様促してゐるが、購入の場合は卸値段で求められる様斡旋する由。

特別食券の書換（25）

今回食堂課の発表に依れば從來所内各部門の從業員に発給してゐた特別食券は昨金曜日限り無効となったので、再発給希望者は同課に出頭の上書換えられ度しと。

追善寄贈（26）

竹村四郎氏は故ポール君の追善供養として左の諸團体にそれぞれ（原文では踊り字）寄附された。

南グラナダキリスト教会	金十弗
グラナダ佛教会	金七弗
チャーチオブクライスト	金捨五弗
グラナダ柔道部	金五弗
ボーイスカウト	金三弗
日曜学校	金三弗

*紛失物＝病院でノミ・ポテ・ナイフを拾得した方は警察署までお届け願ひます。　11H　山本（27）

會葬　御禮　（28）

故ポール儀不慮の災難に依り死去致し、葬送の際は御多忙中にも拘らず御會葬成被下候の

みならず御香料供花等を戴き御厚志の段奉深謝候。
実は一々参上御礼可申上筈に候得共、色々取り込中其意を得ず乍失礼紙上を以って厚く御礼申上候。

四月三十日

喪主	父	竹村四郎
	母	重
	兄	靜雄
	兄	進
	姉	日出子
	弟	清
	親戚代表	竹村三郎
	友人代表	重国米太郎
	十一Ｋ代表	吉澤康利

御禮(29
先日竹村ポール君不慮の災難に遭遇いたせし際は皆々様より多大なる御盡力を給はり御厚志の段厚く御礼申上候
四月三十日　　十一Ｋ　住民一同

グラナダ基督教會（30）
*五月二日　南協会（10Ｈ）よて。
一、聖書研究　ヨハネ傳
　　午前九時　山鹿牧師
一、朝の礼拜　午前九時五十分
　　司会者　葛原牧師
　説教　　八尋牧師
　　題「復活の生命」
一、同夕傳道集会
　　司会者　葛原牧師
　　題「偉大なる救」
一、五月五日（水）　午後七時半
　　祈祷（原文では示に寿）会　司会者　山鹿牧師
* 五月二日（日）　北教会（7Ｈ）よて
一、聖書研究　　午前九時
　　コロサイ書　原谷牧師
一、 朝の礼拜　午前九時五十分

司会者　水上牧師

説教　題「未定」　我妻牧師

一、 同日夕傳道集会　午后七時半

司会者　吉岡牧師

題「未定」

一、 五月五日（水）　午后七時半

祈祷（原文では示に寿）会　　司会者　原谷牧師

日蓮宗修養會（31）

毎日曜日　午前九時

於＝11H　娯室

説教　石原滋禎

「行爲の改善」